



過去最高の960人会員で総会を迎えた兵庫県本部大会で挨拶する岡正信会長

## コロナまん延防止対策急げ! 「さらに行動する同盟」の建設を



No. 554

**治安維持法犠牲者  
国家賠償要求同盟**  
編集発行人 田中幹夫

〒113-0034 東京都文京区湯島2-4-4  
平和と労働センター・全労連会館  
電話 03(5842)6461  
FAX 03(5842)6462  
E-mail chian@bz03.plala.or.jp  
頒価 50円

### 主な記事

● 各県本部の大会・総会始まる .....  
1

● 私も一言／映画千代子の総監督・桂壮三郎 .....  
2

● 頸彰碑／反戦川柳作家鶴彬 .....  
3

● 抵抗の群像／反骨のジャーナリスト宮武外骨 .....  
4

● 同盟文芸／短歌・俳句・川柳 .....  
5

● 同盟文芸／短歌・俳句・川柳 .....  
6

● 同盟文芸／短歌・俳句・川柳 .....  
7

8月15日は、75回目の終戦記念日です。私たちは毎年、「ふたたび戦争と暗黒政治を許すな」と全国的な宣伝行動を行い、不戦の誓いを新たにしています。

安倍政権が、憲法改正と敵基地攻撃能力は憲法の範囲内と述べて進める「戦争する国づくり」を絶対許してはなりません。

新型コロナウイルスの感染者が、7月下旬から東京をはじめ大都市圏で過去最多を更新しています。大都市部での市中感染が広がり、まん延の危険が懸念されています。

政府は国会を直ちに開き、コロナ感染拡大防止のためにPCR検査（世界の100万人当たり検査数158番目）を戦略的に拡大して陽性者の早期発見と、保護、隔離、治療体制を確立し、まん延防止対策を実施するよう強く要求します。国民が反対する「G.O.T.O. トラベル」事業は再検討すべきです。

熊本県をはじめ、日本列島各地を襲っている集中豪雨災害で甚大な被害が発生しています。コロナ感染と二重の被害にあわれた皆さんに心よりお見舞い申し上げます。自治体と国民の実情に即した抜本的な財政的支援の速やかな実施を政府に求めます。

コロナ禍で各県本部の大会・総会を成功させると同時に、すべての会員のみなさんが猛暑のなかですが、健康に十分留意して、「学習、さらに行動する同盟」を建設しようではありませんか。





降雨帶の線上にある故郷の死者刻々と増えてゆくなり  
一〇〇歳の母介護する教え子は「老老介護です」と笑みて言う  
咳三ツすれば散りゆくマスク顔労る思いコロナ禍は消し  
血税を虫蝕む如き政治家に老後の資金筆りとられる  
東京都 島根県 大阪府 丸尾ことよ  
アベ政治への批判をもつ。元山作品生きようとする力が溢れる。小玉作品、黒人差別への怒りが世界に与えた衝撃。渡辺作品は、党による心を一筋にうたう。常連投稿家が並んだ今回。

同盟文芸 短歌

アベノマスク届きし時にはスーパーにマスク溢れて  
売れ残り居り がん術後余命五年もすぎたれば野党連合政権ひたす  
ら待つ 彼の名はジョージフロイド彼の死は追悼から変革へ  
世界を変えてる 島根県 小玉 信恵  
わが党のバースデイ近づき老い我も志位不破演説楽  
しみに待つ 大分県 渡辺 幹生  
香港デモの若ものの顔浮かぶ朝治安維持法再来とず  
しり重なる 岐阜県 田中 良  
コロナ禍の自粛を強いる暮らしにて学び考え社会に  
物言う 磐田市 福家 駿吉  
降雨帯の線上にある故郷の死者刻々と増えてゆくな  
り 埼玉県 白川 洋子  
一〇〇歳の母介護する教え子は「老老介護です」と  
笑みて言う 島根県 大久保禮吉  
咳三ツすれば散りゆくマスク顔<sup>いろど</sup>る思いコロナ禍は  
消し 大阪府 丸尾ことよ  
血税を虫<sup>ムカシ</sup>食む如き政治家に老後の資金<sup>カネ</sup>を<sup>むけ</sup>りとられる  
〈選のあとに〉和田作品、事実を述べながら、強い  
アベ政治への批判をもつ。元山作品生きようとする  
力が溢れる。小玉作品、黒人差別への怒りが世界に  
与えた衝撃。渡辺作品は、党による心を一筋にうた  
東京都 長谷川敏明

川柳

コロナ禍で世界ひとつに願う日々	川柳 鈴木いさお選
大阪府 大和 峯二	〈評〉世界のコロナ感染者は千八百万人に近づいており、このままゆけば正に人類の大ピンチ。一日も早い終息の日を。
埼玉県 福家 駿吉	浮かぶのは八十路自肃の友の顔
鳥取県 大久保禮吉	被害地を「泣き面に蜂」にするなけれ
大阪府 堺谷九条男	選挙は買収アベ菅河井皆アウト
ワクチンが待たれる夏に汗がなし	被害地を「泣き面に蜂」にするなけれ



(慶応3)年、香川県阿野郡小野村(現・綾歌郡綾川町羽床)の代々庄屋の四男に生まれた。10歳で「大学」を読み、12歳で高松栄義塾に入り、「四書五経」を学んだ。このとき、風刺こつけい雑誌を読み、おおいに刺激された。家の近くに未解放部落があり、ここの人々をかわいがり、何かと援助した父の姿を見ながら育つた。15歳の外骨は81(明治14)年、竹内卯八と上京。橋香塾で漢学を学んだ。外骨は洋学をやりたかったが、卯八に「地主が洋学をやつてどうなる」といわれて断念したことを後悔している。

塾での学びよりも新聞や雑誌などから新しい知識を得ることが多かつた。時代の息吹が外骨の心をとらえて離さなかつた。新聞や雑誌を読むだけでなく、自分から繰

り返し投稿し自分の意見が活字になる喜びを噛みしめた。

こうして当時の自由民権運動の空気を感じ取つていった。

84年の春「外骨」と改名。生活は困難であつたが雑誌刊行への夢を追い続けた。20歳で「屁茶無苦新聞」を発行。風刺と諧謔の筆をふるつた。これが風俗壊乱とみなされ発売禁止処分を受けた。数多い筆禍事件の最初であつた。

87年4月、「頓智協会雑誌」を創刊。89年3月の28号は大きな筆禍事件を起こした。

同年2月11日、大日本帝国憲法が発布されると、外骨は「明治新政府が徳川時代と違つて、平民も政治に参加できる政府だと思わせたのは、薩摩と長州の策略だつた。そのことが憲法発布によつて明らかになつた。この策略に踊らされている、われわれ平民こそいい面

智協会は讃岐平民の外骨「れを活用す」とやり返した。

雑誌は東京中で大評判となり、売れ行きはすこぶる好調だった。真意を見抜かれた政府は、雑誌を発行停止処分にし、外骨を捕え、不敬罪で重禁固3年、罰金100円の刑に処した。このとき外骨はまだ22歳だった。

石川島の獄中では活版工場の学役につき、監視の目を盗んで入獄した仲間と獄中新聞「鉄窓詞林」を発行。3年余の獄中生活で平等思想、反政府思想を身につけた。親友の長尾藻城は後年、「監獄は外骨にとつては大学で、思想の田畠と学問の素養は入獄ごとに非常な加速度で増進した」と語った。

出獄後、外骨は「滑稽新聞」を発行して反権力の論陣を強めていった。詐欺事件の告発をつづけ、筆禍を受けるたびに評判となり、新

立、儲けた資金5000円を「大坂平民新聞」につぎ込んだ。その後も検挙、入獄、禁固、罰金の連続だった。15年、17年の総選挙に立候補したが落選した。

外骨は27年、東京帝国大学から明治新聞雑誌文庫の事務主任の辞令を受けた。全国を飛び歩き、資料収集にあたった。48年には、東大調査員に任命され、リュックを背負つて資料収集にかけまわった。

明治の新聞に関しては、東大教授をして「生き字引き」とまでいわせた。広くて深い知識が「明治新聞雑誌文庫」として実った。

反権力、反骨の人といわれ、明治、大正、昭和を自由に生きた硬骨のジャーナリスト外骨は、1955年7月、89歳で他界した。  
（『讃岐民主化の先駆者たち』より抜粋）

抵抗の群像



# 反骨のジャーナリスト 宮武外骨

の反対を示すと思ふ。眞知れぬ怒りがこみ上げてくる」と、痛烈に批判。雑誌に「骸骨が頓智研法を下贈する図」と、憲法発布の勅語をもじり、条文を「大日本頓智研法」

73号では「自殺号」と銘打ち発刊。すぐに「大阪滑稽新聞」を創刊、筆禍を繰り返し、ますます人間は皆殺を仰げばが遠扱に繰り返され、言論弾圧に抗した

# 2020年8月15日は75回目の終戦記念日です

市民の抗議でイージス・アショア配備を撤回

不戦の誓いを新たにし、声をあげましょう

東京大空襲で被災した本所区、荒川区、  
右上は墨田区。手前右下は旧芝居館。

## 憲法9条を守り、国民が主人公の日本へ

### 憲法9条を守り、生かした外交を

1945年8月15日は、終戦記念日です。天皇制政府は、ポツダム宣言を受諾して連合国に降伏しました。15年にわたる戦争は、軍人軍属などの戦死230万人、民間人の海外での死者30万人、原爆（広島14万人、長崎7万人）や空襲などによる死者50万人以上、合計310万人以上が犠牲になりました。また、アジア・太平洋各国に200万人以上の犠牲者を出しました。この過ちを繰り返さないよう、声をあげましょう。

映画製作運動にタイムリー増補新版『時代の証言者伊藤千代子』発行  
今世紀に入り次々発掘された資料をもとに大幅な改定と増補を行  
い、黎明期革命運動の最初の党員、治安維持法犠牲者で最初の女性獄  
死者となつた伊藤千代子に光を当  
てなおす。主な増補部分は、獄中  
最後の手紙考察、ジエンダー平等  
へ、卒業への努力、訊問調書に見  
る確信、解放運動救援会顕彰、弔  
意と香典、ウエルカム・ニシムラ、弔  
獄に死にき、など32ページ増補。中央  
本部価格1600円、発売8月  
15日、10冊以上割引有。

## 【訃報】

### 坂本修さん死去

自由法曹団元団長の坂本修さんが  
7月7日死去されました。享年87  
歳。謹んでお悔やみ申し上げます。

## 事務局日誌

- 7月28日 国際人権活動日本委員会第3回代表者会議
- 7月13日 会長・事務局会議
- 7月16日 三役会議
- 7月19日 改憲反対7・15国会議

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟中央本部  
〒111-0034 東京都文京区湯島2-14-14和光ビル6階  
TEL:03-5984-2164 FAX:03-5984-2162



## 2020年春季号

# 『治安維持法と現代』

発売中

## 治安維持法と現代を結ぶ運動理論誌

**【主な内容】** 学習論文—2020年代に国会請願要求を実現して「治安維持法体制」による国の責任に決着をつけよう=増本一彦 ★国家賠償法を求める請願の19年度紹介議員一覧 [特別寄稿] 現代からみる大阪商大事件=廣川禎秀/多くの在日朝鮮人が治安維持法で弾圧されたのはなぜか=水野直樹/女性文化賞を受賞して=高橋三枝子▼ [小特集・伊藤千代子] 土屋文明詠歌再考=長野晃/ベル『婦人論』に学びジエンダー平等へ=藤田廣登 [抵抗の群像] 岩田義道のデスマスクと共に=阿部淑子の闘いと生涯=飯田勇/日本と「満州」で弾圧された情野義秀=後藤太刀味/旧制山形高校社研のたたかい=佐藤光康ほか  
A5判 頒価1000円 申し込みは、中央本部 各都道府県本部へ